あなたの財産にかかわる

実印と印鑑手帳

実印と印鑑手帳は、あなたの財産や身分にかかわる極めて重要なものです。あなたの印鑑手帳があれば、市はだれにでも印鑑証明書を交付します。そして、印鑑証明書は売買契約、金銭の貸借契約、不動産の登記などに使用されます。

しかし、あまりにも軽い気持ちで、実印や印鑑手帳を他人に任せている例が見受けられます。ひとつ間違うと取り返しのつかない大事に至ります。

みなさんから、今一度この重要性を認識いただくとともに、市の印鑑に関する事務が正確に取り扱われるよう、手続方法の要点をお知らせします。

① 印鑑登録のしかた

○ 印鑑登録は、本人が市役所又は出張所の窓口へ実印を持参し申請しなければなりません。

ただし、本人が病気などでやむを得ず申請できない場合は、代理人が申請することができます。この場合、必らず本人からの委任状又は代理人の印鑑が必要です。

○ 登録の申請があったときは、必らず申請者が本人であるかどうかを確認します。この方法は、本人に照会書を郵送し、それを持参してから登録します。

○ 本人が登録する印鑑を持参し次の文書を提示したときは、照会書の郵送を省略して登録ができます。

ア、官公署の発行した写真付きの免許証、許可書、身分証明書など。

イ、豊栄市において既に印鑑登録を受けている者が、本人に相違ないことを保証した書類。

② 印鑑手帳について

○ 印鑑を登録したときは、印鑑手帳を交付します。

○ 印鑑手帳を無くしたときは、直ちに届け出をしなければなりません。

また、実印を無くしたときは直ちに印鑑手帳を添えて登録廃止の手続きをしなければなりません。

③ 印鑑証明書の交付

○ 印鑑証明書の交付を申請するときは、印鑑手帳が必要です。しかし、実印はいりません。

○ 印鑑証明書の交付申請を代理人に頼むときは、あなたの住所氏名、生年月日を正確に伝えて印鑑手帳を渡してください。

この場合、委任状などはいりませんが、代理人の印鑑が必要です。

実印と印鑑手帳は大切に保管し慎重に取り扱ってください。

採択された請願

十月定例市議会で採択された請願は次のとおりです。

○ 笹山地内市道のU字溝伏設
○ 新仏伝地内の排水路整備
○ 町浦地内市道の側溝整備
○ 上土地亀地内市道の改良、舗装
○ 村新田地内の市道舗装
○ 平林地内農道の市道認定
○ 灰塚地内農道の市道認定
○ 上土地亀地内の市道新設
○ 長戸呂地内農道の市道認定
○ 早通南小学校前通学路の市道認定と舗装
○ 浦木地内市道の改良、舗装

59年度 実施計画

継続事業中心に二十八億円

市の総合計画に基づく昭和五十九年度の実施計画ができました。

総額約二十八億円の内容は、総合体育館や学校建設などの継続事業がほとんどです。

この実施計画は、向後三か年の事業を策定するものですが、財政事情の悪化により、昨年に続き単年度計画となりました。

種類別の主な事業は次のとおりです。

○教育・体育関係　約十八億二百万円

総合体育館の建設、早通中学校・岡方第一小学校・岡方第二小学校の校舎建設

○道路関係　約五億七千八百万円

豊栄水原線の改良舗装、仏伝橋の建設、広域農道・附帯農道の整備負担、一般市道の整備、葛塚中央線の用地取得等

○環境衛生関係　約二億一千四百万円

ごみの最終処分施設整備事業新潟東港地域水道用水供給企業団の出資、町浦川下水路、嘉山下水路の整備

橋桁が架けられた仏伝橋

○産業関係　約一億二千五百万円

湛水防除事業、地盤沈下対策事業の負担金

○一般行政関係　約五千百万円

市役所の電算事務機械の導入等

○消防、救急関係　約一千六百万円

消火栓等の水利施設整備

○その他　約六百万円

以上の合計は、二十七億九千三百万円で、財源内訳は一般財源と起債がそれぞれ十一億円余り、残りは国、県支出金を見込んでいます。

市長の日誌

石井耕一

一月一日　健康で新年を迎えたことはありがたいことですが、自分の幸せを思うとともに、他人にも思いやりが必要です。すぐそこの豊栄病院に、何百人かが病床で新年を迎えています。毎年の元旦歩こう会で、私はいつもこのように挨拶します。昨日下嘉山の中沢富一さんからはがきがきました。今度は元旦歩こう会に参加できません。いつもの市長さんの言葉がよくわかりました。豊栄病院にて、と書いてあります。中沢さんは初回から欠かさず参加していた最高齢者で、今度の十七回にも参加するつもりでいたはずです。

みなさんは、年末年始に十日あまりしか会わないだけの同級生や先生に年賀状を出すでしょう。卒業後互いに遠く離れても、いつまでも年賀状を出し続ける人は、きっと立派な人になれます。私は学校の卒業式の祝辞の中で、何回かそのように言いました。郵便局の年賀状配達出発式に行ったら、アルバイト学生が多くいたので、思い出して、激励の辞の中でそのことを話しました。そのアルバイト学生が、千枚近い年賀状を家へ配達してくれました。何十年も会うこともない、年一回の年賀状で生きていることを知るだけの人が多くあります。もう書くこともなくなり、ただ謹賀新年、とだけのものが増えています。そこでこんな短歌ができました。「古稀われに来る年賀状大方はただ無事か謹賀新年とのみ」

一月四日　新年には思いを新たにし、自らの生き方を考え、今年も元気で働こう、と心に決めるところに意義があります。今年の干支（えと）は甲子です。十干のはじめは甲（きのえ）、十二支のはじめは子（ね）で、甲子は六十年にしかめぐってきません。昭和になってはじめてです。今年は特に大きく思いを新たにし、心機一転といきましょう。私は市役所の御用始めにこのように挨拶しました。そして、例年その年生まれの職員に贈る色紙に、今年は五十枚、心機一転と書きました。市民のみなさん。今年はこれでいきましょう。